

## 校長挨拶

### 令和4年度付知中学校 のスタートにあたって

令和4年度は、44名の新入生を迎え、全校生徒136名で、付知中学校がスタートしました。4月の始業式、入学式で次の話をしました。

#### 【始業式】 新2・3年生に

##### 1. 史上最高の付知中をめざす

昨年度もめざしてきた「史上最高の付知中」を支えてきたのは、地道な日常生活の取り組み。「明るくさわやかな付知中」を念頭に、あいさつ・合唱・給食の時間など日常生活の質を高めていくことを意識して生活していけば、史上最高に近づける。そのためにはまず、安心して学校生活を送ることができるように、「付知中の目指す生徒像」を大事にしたい。今から九年前の先輩が、願いを伝え、悩み、考え、作られたもので、生徒玄関に掲げてあるのでじっくり見て欲しい。

##### 2. 学年の役割を果たす

3年生は学校の「顔」として全校をリードする。2年生は「幹」として、3年生をフォロアーとして支えるだけでなく、時に脅かすような存在であってほしい。

#### 【入学式】 新入生に

##### 1. たくさん仲間を作り、その仲間を大切にする

北小、南小が集まって新しい仲間との3年間が始まる。仲間と共に活動する事を通して、ねうちのある財産をたくさん作って欲しい。一人一人の良さを出し合いそれを集結し、互いの良さを認め合うことで、多くの仲間ができるはず。

##### 2. 当たり前前が当たり前前になる

挨拶、時間行動、身なり、整理整頓、正しい言葉遣いなど、当たり前前が当たり前前になることはすべての基本。

##### 3. 付知中生としての役割を果たす

3年生は「顔」=学校のリーダー。2年生は「幹」=リーダーのフォロアー。1年生は「礎の1年」学校全体を支える基礎の役割。どんなものにもしっかりとした基礎が必要。基礎がしっかりしていればその上のはっきりする。2・3年生から学びながら、付知中を支える基礎となって欲しい。

付知中学校は、「社会に通用する人間づくり」「ふるさととともに歩む学校づくり」を進めていきます。生徒の「自立」のための教育をするという点において、保護者の皆様、地域の皆様と共に手を取り合って歩んでいきたいと思っております。どうか、よろしくお願い致します。

中津川市立 付知中学校  
校長 工藤 博也